

# JPALS 活用術 メリット等の経験談

JAPAN PHARMACEUTICAL ASSOCIATION LIFELONG LEARNING SUPPORT SYSTEM

2015年1月号から14回に渡って、「JPALS活用術・メリット等の経験談」を掲載してきましたが、今回は最終回となりました。これまで、実践記録の書き方の工夫からJPALSの活用法まで、さまざまな経験談をご紹介しましたので、今回は最終回として、これまでの記事をまとめたいと思います。

## 実践記録の書き方の工夫

### 【記録作成時のJPALSコード活用のススメ】 (2015年2月号)

実践記録を入力する際、「JPALSコード」を入力すると、必須項目がほぼ自動で表示されるので便利！あとは研修のまとめを200字以上入力するだけ！

### 【実践記録 研修形式の使い方】 (2015年4月号／5・6月号)

実践記録を入力する際に選択する「研修形式」には、「研修会」のみならず、「自己学習」、「地域活動」、「その他」などもあります。研修会に参加しなくとも、その他の研修形式として、自身で勉強した内容や医薬品情報整理のためのメモ等も実践記録として記録してみましょう！

### 【講演会での話の聴き方】 (2015年9月号)

講演会などに参加するときは、実践記録を作成することを意識してメモを取ると記録を記載しやすいだけでなく、講演会中に眠くなることも少なくなりました！



## JPALSの活用法

### 【My DIメモの勧め】 (2015年1月号)

新薬等の製品説明会で学んだ内容をJPALSの実践記録にメモしておくことで、その製品の情報を参照したいときに、すぐに呼び出して活用することができるので便利！

### 【ポートフォリオで記憶を呼び覚ます】 (2015年3月号)

自分が過去に記載したポートフォリオ(実践記録)を読み返してみると、過去に学習したが、自分では忘れていた内容が思い出され、以降の学習のきっかけにもなります！

### 【入力後の実践記録の使い方】 (2015年9月号)

記録した実践記録をプリントアウトして、持ち歩いて復習しています！

### 【キーワード検索の活用】 (2015年7月号／11月号)

JPALSの実践記録には、さまざまな情報を記載することが出来ますが、数が増えると、どの実践記録に何を記載したかがわからなくなることがあります。そんなとき、実践記録のトップページのキーワード欄に検索語を入力すると、そのワードが入った記録を簡単に探し出すことができ、すぐに業務に活用することができます！

### 【プレチェックの活用】 (2015年8月号)

JPALSホーム画面の「レーダーチャート」や右側に表示される「プレチェック」の実施により、現在の自身の学習状況がわかるので、特定の領域に偏らない、広い領域を学ぶことを目的とした学習計画を立てるのに有効です。

### 【Evernote(エバーノート)の活用】

(2015年10月号)

JPALSのホーム画面で、左側タブの「my ノート」をクリックすると、自身のエバーノートに記録した文章や写真がそのまま出てくるので、実践記録を記載するときに文書を貼り付けたりすることができて便利です！

### 【e-ラーニングの活用】

(2015年12月/2016年2月号)

JPALSにはe-ラーニング受講の項目があります。地域の研修会などではなかなか聞くことが出来ないカテゴリーのコンテンツもインターネットで見られますので、視聴申し込みをして受講してみませんか？もちろん、視聴後は、実践記録を忘れずに！

### 【PS(プロフェッショナルスタンダード)バランスの活用】

(2016年1月号)

PSバランスは自身が記載した実践記録の内容のPS別のバランスを示したものです。これにより、自身の学習領域の偏りを確認することができ、以降の学習計画の立案、偏りのない幅広い領域の学習を実施することが出来ます。

以上、これまでの記事をまとめてみました。詳細をお知りになりたい場合は、それぞれの掲載号を参照してください。これらの記事を参考のうえ、上手にJPALSを活用して、【振り返り・自己査定→学習計画の立案→学習の実践→評価】のCPD(Continuing Professional Development)を実践し、薬剤師職能の維持・向上に努めましょう！

## JPALS クリニカルラダーレベル昇格Webテスト

実施期間：2016年3月16日(水)～4月15日(金)

クリニカルラダーレベル昇格Webテストが始まっています。

レベル2、3、4、5への昇格をご希望の方は、Webテストを受験いただく必要があります。



薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤/ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

**オプジーボ<sup>®</sup>** 点滴静注  
20mg, 100mg

ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>(注)</sup>

(注)注意—医師等の処方箋により使用すること

**OPDIVO**  
(nivolumab)

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

製造販売(資料請求先)

小野薬品工業株式会社

〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1-8-2

プロモーション提携

アリストルマイヤーズ株式会社

〒163-1328 東京都新宿区西新宿6-5-1

2015年9月作成